2024年1月セミナー 一般用

建築技術2024年1月号の特集

## 「住まい手が選ぶ、面白い温熱環境」を読む

主催:日精プラステック 共催:BB研究会、ハウス・ベース

2024年1月22日(月)15:00~17:30

断熱レベルの目安はG2で落ち着いて、性能表示は7等級まで一気に段数が増えた。こうして性能は高みに誘導されながら、全館空調の均質空間を小さな燃費で実現することが高断熱・高気密の勝利宣言となっている。

エネルギー 畳 無垢板 炬燵 緑側 障子/襖 大 小 Task and Ambient ズルイ断熱 炬燵 均一×不均一 扇風機 気候 定常×非定常 passive> 生殺し温度 全館空調部分間歇空調 全体 #部分 周辺環境 やり過ごす 日射 通風 Adaptive Model 環境共生住宅 心理的適応 bioclimatic design Alliesthesia biophilic-design 時間変化 生理人類学 スパイシーのような快適 住まい手が選ぶ としての 生物 湯たんぽ <eco> 面白い温熱環境 ABW ABL 循環 快温度差 エクセルギー 適<sub>PMV</sub> energy PLEASANTNESS 積極的な快適性  $co_2$ 健康な温熱環境の最低 最低温度10°C以上、15°C未満の割合15%以下…目安としてG1レベル 寒さ暑さを我満 ヒートショック

私は生殺し温度で朝をやり過ごす…といったパッシブを絡めた不均質な温熱を面白いといってきた

が、それは高性能論からすれば低レベルにみえた。でも超高断熱住宅でも炬燵が人気になるなど、新たな展開も始まっている。

いずれ、すべては「ある程度断熱レベルが上がって、15°C以下にならない家での話」で、その先は均質も不均質も施主の選択の時代になるということ。まずはちょっと意外な考えとなる本特集の頁を開いてみませんか・・(南雄三)





建築技術2024年1月号

建築技術をテキストに して解説しますので、 事前に<mark>建築技術</mark> or Amazon等で購入した 上で受講して下さい。

## オンライン (zoom) 開催

開催日 2024年1月22日(月)

時 間 15:00~17:30 開場14:30

主 催 精プラステック 共催: BB研究会、ハウス・ベース

受講料 2000円/人

定 員 100名

申込み 日精プラステック馬場まで

sq.baba@c-serve.co.ip

●会社名 ●氏名 ●Mail ●電話を明記

問合せ: ☎03-5695-7815(日精プラステック)

15:00-15:05 主催者連絡事項

15:05-15:35 快と適の違いと均一・不均一

|15:35-16:00 日本の温熱・省エネの考え方

16:10-16:30 ズルイ断熱と面白い温熱

16:30-16:50 パーソナル空調とABW

16:50-17:10 面白い温熱住宅事例

17:10-17:30 質疑(希望者)